



群馬県 県土整備部 都市整備課 都市プロジェクト推進室

前橋市の中心市街地は、かつて人々にぎわった商業の中心地でしたが、社会・経済の変化により店舗や人通りが減少し、活気を失いました。こうした状況を受け、前橋市は、2019年に中心市街地のまちづくり戦略として「前橋市アーバンデザイン」を策定し、文化芸術交流の促進、職住近接性の実現、経済活力の強化、そしてデザイン力の向上を柱に、官民連携による持続可能なまちづくりを推進しています。その結果、民間主導による創造的な取組が進み、まちは徐々に活気を取り戻しつつあります。

前橋市
中心市街地

群馬県庁

群馬県庁・県民広場

本町二丁目五差路

駅前通り

JR前橋駅

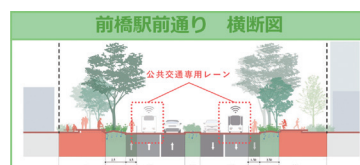
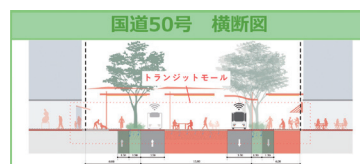
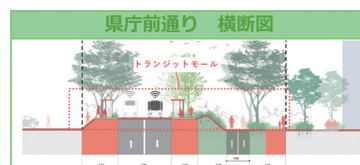
前橋クリエイティブシティ構想対象区間位置図

本構想の実現に向け、「世界に誇れる持続的な県都の発展を目指し、革新的な都市機能の充実を図る未来のまちづくり」をテーマに、未来志向の都市空間デザインを国内外から広く募る国際コンペを、令和6年10月から令和7年3月にかけて実施しました。

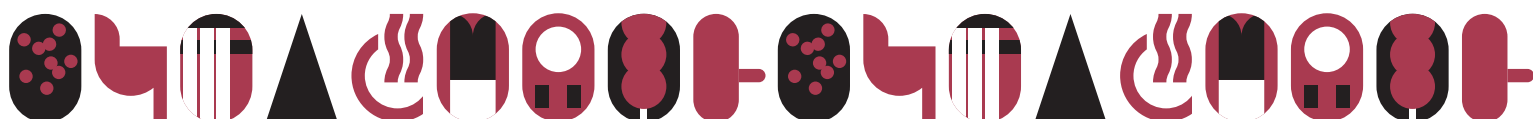
このコンペでは、2040年の技術革新を見据え、バスやタクシーなどの公共交通だけが通行できる「トランジットモール」や、バス停などを集約した便利な乗り換え拠点となる「モビリティハブ」の整備を想定するなど、複数の条件のもとで都市空間デザインの提案を求めました。

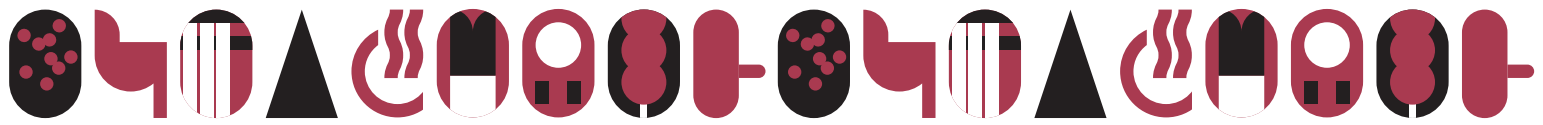
コンペで選定された最優秀作品は「稜線がつなぐ まちづくり_前橋リッジライン」です。提案チームは、株式会社マウントフジアーキテツスタジオ一級建築士事務所を代表とし、アメリカのフィラデルフィアに拠点を置く全米有数の都市空間デザイン事務所や、イタリアのミラノに本社を置き、世界各国で交通計画を手がける事務所など、5者で構成される国際色豊かなチームです。

現在、この都市空間デザイン案をもとに、道路の幅員構成や構造物の配置など基本構造を決定するための基本設計を進めています。



稜線がつなぐ まちづくり 前橋リッジライン





■ 構想実現に向けた取組

【社会実験】

県庁前交差点から国道17号本町一丁目交差点までの県庁前通り(約500m)で社会実験を実施しました。

この社会実験では、将来の道路空間を見据え、一般車両の通行を制限し、人と公共交通を中心とした道路空間を実際に体験してもらいながら、実施中の基本設計に反映するために、周辺交通への影響調査、許可車両の通行方法の検証、道路空間活用に関するアンケート調査などを行いました。

通行止めにした道路上には、キッチンカーの出店やパーソナルモビリティの試乗体験、テーブルやベンチの設置など、憩いと賑わいの場を創出し、多くの方にご参加いただきました。



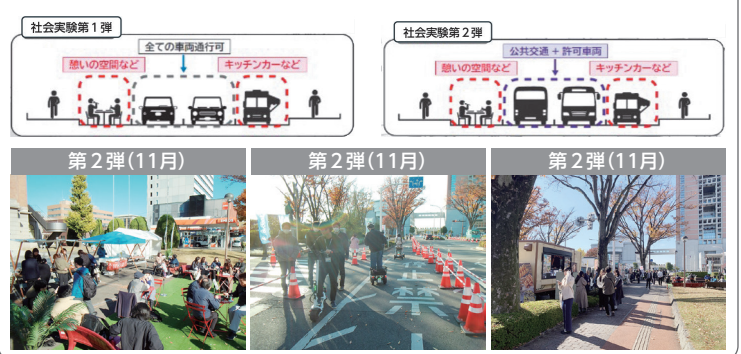
第1弾

- ・規制日時：令和7年9月17日(水) 9時から
9月19日(金) 20時まで
- ・規制内容：上下線の外側一車線通行止め

第2弾

- ・規制日時：令和7年11月19日(水) 9時から
11月21日(金) 20時まで
- ・規制内容：一般車両通行止め* (10時～16時)
※公共交通と許可車両は通行可
10時～16時以外は第1弾と同様

実施状況



【市民周知・意見反映】

市民とともに未来を描く共創の場として、シンポジウムとワークショップを開催しました。

シンポジウム

コンペで決定した未来志向の都市空間デザインと、構想実現に向けた今後のまちづくりの展望について、多くの方に周知するため、シンポジウムを開催

- ・日時：令和7年8月23日(土) 14時～16時
- ・会場：前橋プラザ元気21 3階ホール
- ・参加者数：約300名
- ・プログラム
第1部 最優秀作品プレゼンテーション
第2部 パネルディスカッション
「世界に誇れる未来志向の革新的なまちづくりとエリア価値の向上」



ワークショップ

コンペ都市空間デザイン案をもとに、市民の皆さまの意見を取り入れながら、県都前橋の魅力と賑わいを高める道路空間とするため、ワークショップを開催

- [第1回ワークショップ まちづくりWEEK2025夏]
- ・日時：令和7年8月20日(水)～
8月24日(日)
- ・会場：まちなかサロン、前橋プラザ元気21 など
- ・参加者数：約500名



■ おわりに

群馬県では自動車への依存が高く、将来の通行制限による生活への影響を懸念する声があります。一方で、自動運転など新しいモビリティの登場により、交通のあり方は大きく変わりつつあります。人と公共交通を中心とした、誰もが安心して歩き、集える道路空間への再編が求められています。

本構想は、そのような未来の道路空間を市民とともに創り上げ、群馬らしい独自の価値を創造するものです。国際コンペで選ばれた都市空間デザイン案を基に、市民との対話を重ねながら具体化していく「市民が主役」の取組です。市民の意見やアイデアが、この構想を前に進める力になります。今後もワークショップなどを通じて市民の声を丁寧に反映し、未来につながる新たな道路空間の創造を着実に進めていきます。

